



# わらしべの里通信



## 抱負を語って、気持ち新たに！！



抱負を語っている仲間

役員から新年の挨拶があり、9月30日までの任期を「これからも、がんばります」、「会長をサポートして、明るい仲間の会にします」、「会長、副会長をサポートしていくので、お願いいたします」と、気持ちを新たにし、拍手を送られています。(混む)

正月気分が抜けきれない1月4日午前、わらしべの家では仲間の会主催による「みかんを食べながら新年の抱負を語りあう会」が開かれました。この日は、仲間一人一人が今年の抱負を発表しあったり、施設長の話を聞いたたりなど、新たな気持ちを共有する時間を過ごしました。今年の抱負を一部紹介させていただくと、『おちついて、仕事をいっしょうけんめいがんばりたい。もっと落ち着いて行動したい』、『仕事を休まずに行く』という仕事に熱心な意見が聞こえたり、『わらしべに、1日も休まないで全部出席したいです。夜は、12時には寝るよう努力します』、『明るく、素直に毎日を過ごしたい』など人間関係や、生活に関連した“抱負”が沢山聞こえました。



## 1年間無事に過ごせるように



この一年間無事に過ごせるように豆を食べている仲間

先日、降った雪がまだ残っていましたが、だんだんと、春に近づいているのだと感じました。(PORI)

2月に入り一段と寒い風が吹いていました。3日は節分の日なので、わらしべの家も14時45分から仲間の会主催の恒例行事である豆まきを行いました。午後、全員で食堂に集まって節分の準備をしていると、わらしべの家の玄関に鬼がやって来ました。皆で手に豆を持ち「鬼は外、福は内」と言いながら豆を鬼にぶつけました。鬼は豆が嫌いだだったので、「痛い、痛いよ」と言っ山奥に逃げていきました。そして、鬼と一緒に皆の体の中の悪いむしも外に追い出してしまいました。その後、席に戻ってこの一年間無事に過ごせるようにと豆を食べました。仲間たちは、「鬼に豆をたくさんまいたのでよかった」、「楽しかった」と、話していました。帰りの会で、施設長が「暦の上では、今日までが冬の季節。明日が立春なので冬の季節から春の季節へと変わる季節の分かれ目」、などの簡単な節分についての話をしてくれました。





# クリスマスツリーと仲間たち

## クリスマスツリーと語った



毎年12月に入ると、わらしべの家にあるクリスマスツリーを食堂に飾ります。仲間たちはそのツリーに1つか2つずつ飾りつけをします。全員が飾った後にイルミネーションを巻き付けて食堂の電気を消してスイッチを入れるとキラキラしてとてもきれい。

きれいなクリスマスツリーを見ていたらこんなことを思いました。

毎年同じような顔をしているけれど、なにか考えているのかな、このツリーはいつからあるのかな、と思いツリーに心の中で話かけてみました。

「君がここに通う前からいたんだよ、君があの日、通所したことも覚えているよ」、「もう20年近くもいるのかすごいな」、「わらしべの家の歴史のことならおれに言っておくれよ」と会話しました。



## クリスマス会の日

そして、12月25日、クリスマスの日。わらしべの家でも、午後1時からクリスマス会が華やかに、食堂で開かれました。

クリスマス会は、「きよしこの夜」など、3曲を歌って始まりました。次は、自分の手で箱の中にあるものを触りながら、周りの人のヒントを参考に、箱に入っている物をあてるゲームで大盛り上がり。手の感覚だけで当てている仲間、何が入っているのかとドキドキしながらやりました。



箱の中身をあてるゲームを楽しんだあとは、ビンゴで大決戦。なかなか縦・横・斜めの5つの数字がそろわず「ビンゴ」と叫べない仲間、出た数字とカードの数字があと1マスすれば全部揃って「ビンゴ」と言えたのにと、とても悔しかった仲間もいましたが、最後まで楽しんでる様子でした。

最後は、プレゼント交換です。プレゼントは仲間たちが、当たった人に喜ばれるような商品を選びました。仲間たちは自分を選んだプレゼントが誰の手に届くのかなと思いつつ、大きな丸い円になりました。音楽に合わせて隣の人に回すのですが、手から手に渡すリズムがうまく取れなくて脱線した仲間もいたけれど、最後にはうまくできました。



（この部分のテキストは上記の「クリスマス会の日」の欄と重複しています）

11月～1月行事

- 11月20日 仲間の会
- 12月18日 誕生会（2人）
- 25日 仲間の会
- 28日 クリスマス会
- 1月4日 仕事納め
- 4日 年初め

これから行事予定

- 2月3日 節分・豆まき
- 16日 嘱託医問診
- 2月26日 仲間の会
- 3月3日 誕生会（3人）
- 3月3日 ひな祭り
- 19日 仲間の会
- 4月上旬 誕生会（2人）
- 16日 花見会
- 5月7日 誕生会（7人）
- 21日 仲間の会
- 誕生会（4人）

11月～1月の行事

- 22日 仲間の会
- 誕生会（3人）
- 5月7日 レクリエーション

※月の第1金曜日は、レクリエーション、第3金曜日に、仲間の会・誕生会を仲間の会主催で行います。

## また来年、会いましょう

わらしべの家のクリスマス会が終わると次の日は年間行事の大掃除です。同時にツリーも片付けます。

みんな1つ歳をとって、また来年のこの時期に会いましょう、とクリスマスツリーが言ったように聞こえました。（PORI）

## お花からお花へ みんなで、ミツバチになりました



あたたかな日差しを背中に感じながら、のんびりする仲間たち



## 2009年秋の思い出特集

～日帰り旅行～

10月30日、わらしべの家で働く仲間たちは、日帰り旅行に出かけました。行き先は、足利市にある「あしかがフラワーパーク」。旅行当日は、天候もよくまさに秋晴れでした。

フラワーパークを訪れた仲間たちを30万本の紫の花、アメジストセージとバラがやさしく出迎えて、夢の園へいざなかのようなように園内への道が続き、歩く仲間たちの表情も、きらきらと輝いていました。



バラが咲いていて、とてもきれいでした

秋の花たちで彩られた園内を、仲間たちはゆっくりと歩き、まるでミツバチのように立ち止まりながら、携帯

電話や心のカメラで写真をとったり……。アメジストセージとハスに囲まれた休憩スペースでは、あたたかな日差しを背中に感じながら話し込み、絆を強めていました。

約1時間のフラワーパーク散策を終え、「おなが、すいた」という声も聞こえるようになったので、近くのホテルへ。仲間たちの座ったテーブルには、ちよっと豪華な和食と、洋食がやってきて、「いただきます」とお昼の挨拶のあと、食べはじめました。普段のランチは、仕事の都合もあって、早いです。この日は、ゆっくりに時間を



過ごしていました。仲間たちは、「フラワーパークで見たバラがきれいだった。ホテルで食べたハンバーグが美味しかった」、旅行、楽しかった。花がきれいだったので、久しぶりにカメラで写真を撮りっぱい撮っちゃいました」と話していました。（混む）



“ホームページや機関紙を作りたいあなた！”

「パソ工房」では、ホームページや機関紙などの作成を行っております。

モットーは「見やすくて分かりやすい」デザイン！

☆☆☆『ホームページや機関紙を作りたいけどどうやればいいの？』と悩んでいるそこのあなた！

今すぐパソ工房にアクセス！☆☆☆

<http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/>

E-mail [warashi-hope@cc9.ne.jp](mailto:warashi-hope@cc9.ne.jp)

問合せ TEL 0282-27-1627 FAX 0282-27-1675



## 運動になって、楽しかった



熱戦が繰り広げられた玉入れA!

熱戦が繰り広げられた玉入れA! とがよかったです。一緒に参加できた。楽しかったです。玉がなかなか籠に入らなかった。仲間が逆転になって、有利になったので嬉しかった。施設ごとに紅白に分けて競技を行い、わらしべの家は紅組として参加しました。今回のスポーツ交流会は紅組が勝利し幕を閉じました。

10月1日(木)にスポーツ交流会が栃木市の体育館で開催され、市内の8ヶ所の通所施設に通っている利用者同士がスポーツを通して交流を深めました。今年で10回目の開催となりました。

開会式での選手宣誓は、わらしべの家と他施設の利用者の2人が声を合わせました。わらしべの家の代表として、選手宣誓をした利用者は、「みなさんにわかりやすく、聞こえやすくするために文章を考えたり、はつきりと、大きな声で言った。緊張もあったけれど、言えてよかったです。」と話していました。

開会式後「必殺!血返し」や、「玉入れ」、「綱引き」、「缶釣り競争」などのほかに、新しく「リレー」が入り、7種目の競技で行われました。ここで種目の一部を紹介します。「玉入れ」は、高い所に籠がある「玉入れA」と、玉が籠に入れやすいように床の上に置いて工夫してある「玉入れB」という同じ玉入れでも2種目の競技が用意されていました。参加した仲間たちは、それぞれ楽しんでいました。僕は玉入れBに出場したのですが、玉がなかなか籠に入らなかった。それでも皆と一緒に参加できて、一緒に競技をやれたことがよかったです。一緒に参加した仲間が逆転になって、有利になったので嬉しかった。施設ごとに紅白に分けて競技を行い、わらしべの家は紅組として参加しました。今回のスポーツ交流会は紅組が勝利し幕を閉じました。

## スポーツ交流会



缶つり競争 制限時間の3分間に神経を集中!! 何本釣れるかなあ!

いる。そして、円の中の空き缶を3分以内に缶の飲み口にフックをひっかけて引き上げる競技です。その取った空き缶の裏に点数が書いてあり、各チームの合計が得点となる。空き缶によつては書いていない物もあった。ある仲間が、「缶の中になかなか入らなかったけど、2個も取った。でも2個とも裏には、得点を書いてなかったのがっかりした。裏に得点を書いていないと点数には入らないので悔しかった。すぐ近くの缶には点数が書いてあったのでとても悔しかった」と話してくれました。

今回は、放送席で競技の進行を利用者もやることになりました。進行の係りをした利用者は、「1つ1つの言葉を大切にしながら、自分なりに最後までやれた」と話していました。

ある仲間は、「今回は新しい種目にリレーが入ったので見ているだけでも面白かった」や、「午前中は、白組の方が有利になっていたので、午後には、綱引きで紅組が逆転になって、有利になったので嬉しかった」と話してくれました。施設ごとに紅白に分けて競技を行い、わらしべの家は紅組として参加しました。今回のスポーツ交流会は紅組が勝利し幕を閉じました。

た。ほかに、「缶釣り競争」は、円の周りに数人が集まり、竿の先に糸がついていてそのまた先には小さなフックがついて





**社会福祉法人わらしべの里**

『わらしべの里通信』第19号(通巻33号)  
 発行元 社会福祉法人わらしべの里  
 発行責任者 金坂 直仁  
 編集者 わらしべの家パソ工房  
 〒328-0011 栃木市大宮町2708-3  
 電話 0282-27-1627  
 Fax 0282-27-1675  
 E-mail warasi-nk@cc9.ne.jp (事務所)  
 http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/

今年度もわらしべの家のいろいろな行事に参加できました。

僕のここに残った思い出は日帰り旅行です。仲間達と一緒に出かけられて、初めての場所に行けるからです。

今回は、お昼に和食と洋食メニューを選んでホテルで食べました。僕は、洋食メニューにしました。自分でナイフとフォークを使ってハンバーグを切って食べたことが嬉しかったです。普段の時は、周りの人に食べやすく切ってもらいますが、今回は、自分からやってみようと挑戦しました。うまく切ることができました。やればできるんだな。やろうという勇気が必要だな、とよい発見をしました。

次回号で、わらしべの里通信は第20号になります。第20号にふさわしい記念になる通信を作りたい!恒例のほのぼのアンケートを作りたい!今、題を何にするか、仲間にごんなアンケートするか考えているところです。では、次回を楽しみにして下さいね。(範)

編集後記